

令和 5 年 12 月 22 日	資料 2
第 2 回東京都保険者協議会 第 2 回特定健診・特定保健指導特別部会	

令和 5 年度
第 2 回 東京都保険者協議会
協議事項

東京都保険者協議会

令和6年度における東京都保険者協議会の取組について（案）

★：新規 ◎：一部変更 ○：継続

1 特定健康診査等の実施、高齢者医療制度の運営等に関する保険者その他の関係者間の連絡調整

○ 特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた要望

特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた協議を行い、厚生労働省に対し要望書の提出を行う。

○ 集合契約に関する調整 ※ P 4 の該当箇所： 1 (2)

区市町村国保保険者の特定健診等実施の契約状況を把握し、それをベースとした集合契約が円滑に行われるよう検討・協議し、関係機関との調整を行う。

2 保険者に対する必要な助言又は援助

○ 促進月間の設定と広報 ※ P 4 の該当箇所： 1 (4)

保険者が協働して被保険者等に対する集中した啓発を行うため、都保険者協議会として促進月間【禁煙週間（5月下旬～）、健康増進普及月間（9月）、乳がん月間（10月）、糖尿病予防月間（11月）及び後発医薬品使用促進月間（2月）】を設定し、あわせて促進月間に関する啓発資材（国、都が作成したポスター・リーフレットを活用）をホームページに掲載する。

○ イベント等への協力及び参加者への普及啓発

都及び東振協が実施するイベント等（大腸がんウォーク等）へ協力し、都保険者協議会のオリジナル啓発グッズを参加者へ配布

○ 保険者の取組事例の構造化 ※ P 4 の該当箇所： 1 (2)、(3)

特定健診、特定保健指導、生活習慣病重症化予防等の分野における保険者の取組を構造化し、健康課題を解決するための方法・体制の工夫等を横展開

◎ 特定保健指導等プログラム研修会の実施 ※ P 4 の該当箇所： 1 (2)

特定保健指導などの保健事業等について、担当者の資質を向上するための研修会を、総論編（1コマ）と各論編（2コマ）に再編して実施

★ 抗菌薬の適正化に向けた普及啓発 ※ P 4 の該当箇所： 2 (3)

効果が乏しいと指摘されている急性気道感染症や急性下痢症に対する抗菌薬処方について、啓発資材を作成し、各保険者が活用できるようHP掲載する

3 医療に要する費用等に関する情報についての調査及び分析

○ データ分析に関する研修会の実施

効果的な保健事業を実施するために必要なデータ分析に関する知識の習得に資する研修会を実施

◎ 都内医療保険者のデータヘルス計画に基づく取組状況調査 ※ P 4 の該当箇所： 1 (1) ～ (4)、2 (1) ～ (3)

加入者に係る健康づくりや医療費適正化の取組の推進にあたり、第三期データヘルス計画初年度の都内医療保険者の取組状況を調査

★ 都内医療保険者のデータヘルス計画推進に向けたデータ分析 ※ P 4 の該当箇所： 1 (1)、2 (1) ～ (3)

NDBデータ等を活用し、都医療費適正化計画で把握している医療費や特定健診データ等を経年比較する

全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律（令和5年法律第31号）

- ・保険者協議会が必置化
- ・都道府県医療費適正化計画の期間の終了の日の属する年度の翌年度において、当該計画の実績に関して意見

▶高齢者の医療の確保に関する法律157条の2

保険者は、共同して、加入者の高齢期における健康の保持及び医療費適正化のために必要な事業の推進並びに高齢者医療制度の円滑な運営及び当該運営への協力のため、都道府県ごとに、保険者協議会を組織する

▶令和5年7月20日付国通知により「保険者協議会設置要領」改正

「保険者協議会設置要領」の改正（概要）

1 趣旨

・保険者協議会においても、都道府県が中核的な役割を発揮しつつ、保険者としての取組や行政主体としての取組を的確に実施し、加入者の健康増進と医療費適正化に関する取組の実効性の確保を図っていく必要がある。

・加えて、都道府県医療費適正化計画の目標のうち、特に医療の効率的な提供の推進に関する目標の達成に向けては、都道府県域内の医療の担い手等を含む関係者が地域ごとに地域の実情を把握するとともに、必要な取組について検討し、実施することが重要であり、構成員としての参画を含め、保険者協議会への医療の担い手等の参画を促進すること等を通じて、実効性のある取組が行われるようにすることが重要である。

・全社法により、社会保険診療報酬支払基金及び国民健康保険団体連合会の目的、業務等に係る規定に、医療費適正化に資する診療報酬請求情報等の分析等が明記されたことを踏まえ、都道府県や保険者協議会は、これらの機関等の関係機関との連携を図ることも期待される。

3 主な事務内容

(1)高確法における事務

一 特定健康診査等の実施、高齢者医療制度の運営等に関する保険者その他の関係者間の連絡調整

集合契約や他の検診との同時実施、健診実施の委託契約等のための保険者・医療関係者等の連絡調整等

二 保険者に対する必要な助言又は援助

特定健康診査等の実施率の高い保険者の取組事例の共有や保険者協働での広報活動等

三 医療に要する費用等に関する情報についての調査及び分析

国保データベースシステム等を活用した調査分析の研修会や被用者保険者等への分析結果の提供、管内の保険者によるデータヘルスの取組事例の共有、保険者横断的な医療費や医療サービスの利用状況等に関する分析・その結果の各保険者への提供等

四 都道府県医療費適正化計画の実績の評価に関する調査及び分析等

都道府県における医療費適正化計画の策定及び変更並びに当該計画の目標の達成状況及び施策の実施状況の調査及び分析に関し、保険者協議会において行った調査及び分析の結果等に基づく意見提出

五 医療費適正化計画の実施についての都道府県への協力

(2)医療法における事務

都道府県における医療計画の策定及び変更に関し、保険者協議会において行った調査及び分析の結果等に基づく意見提出

東京都保険者協議会に係る要綱等の改正（案）

「東京都保険者協議会設置運営規程」改正の概要

第2条 事業

- (1) 特定健康診査等の実施、高齢者医療制度の運営等に関する保険者その他の関係者間の連絡調整
- (2) 保険者に対する必要な助言又は援助
- (3) 医療に要する費用等に関する情報についての調査及び分析
- (4) 東京都医療費適正化計画の策定及び変更並びに当該計画の目標の達成状況及び施策の実施状況の調査及び分析に関し、協議会において行った調査及び分析の結果等に基づくこと
- (5) 東京都医療費適正化計画に基づく施策の実施に当たっての東京都への協力に関すること
- (6) 東京都保健医療計画の策定又は変更に関し、協議会において行った調査及び分析の結果等に基づくこと
- (7) 前各号に掲げるもののほか、目的を達成するために必要な事項に関すること

「東京都保険者協議会専門部会設置運営要綱」改正の概要

(1) データ分析部会

- ①医療費データ等に関する情報の収集
- ②東京都医療費適正化計画等に対し必要な意見を提出するための調査及びデータ分析の実施
- ③データヘルスの推進等に係る事業
- ④その他目的を達成するために必要な事項

(2) 保健活動部会

- ①保健事業に関する情報の収集
- ②保険者協働での広報の実施
- ③特定健康診査の受診率向上等のための普及啓発及び円滑な実施の支援
- ④データヘルスの推進等に係る事業
- ⑤特定健診・特定保健指導等に係る研修の企画及び講師等の選定
- ⑥その他目的を達成するために必要な事項

(3) 特定健診・特定保健指導特別部会

- ①特定健診等を実施するための条件整備
- ②その他目的を達成するために必要な事項

「東京都保険者協議会医療計画等検討部会設置運営要綱」改正の概要

- (1) 東京都医療費適正化計画の策定及び変更並びに当該計画の目標の達成状況及び施策の実施状況の調査及び分析に関し、協議会データ分析部会において行った調査及び分析の結果等に基づくこと
- (2) 東京都医療費適正化計画に基づく施策の実施に当たっての東京都への協力に関すること
- (3) 東京都保健医療計画の策定又は変更に関し、協議会データ分析部会において行った調査及び分析の結果等に基づくこと
- (4) 前各号に掲げるもののほか、目的を達成するために必要な事項に関すること

第四期東京都医療費適正化計画（素案）における保険者協議会に関する内容

第四期東京都医療費適正化計画（素案） 第4部「医療費適正化に向けた取組の推進」

1 生活習慣病の予防と健康の保持増進に向けた取組

（1）データヘルス計画の推進

保険者協議会において、都内保険者のデータヘルス計画推進に資する健康・医療情報や取組の好事例等の情報共有を行う

（2）特定健康診査及び特定保健指導の推進

保険者協議会においては、保険者等の担当者を対象とした研修等を通じ、特定保健指導等を効果的に実施できる人材の育成や、事業の円滑な実施のための調整等を引き続き行う

（3）生活習慣病の発症・重症化予防の推進

保険者協議会等を通じた好事例の情報提供により、取組を推進する

（4）健康の保持増進に向けた一体的な支援

- ・保険者協議会においては、保険者が活用できる啓発資材等の情報提供を行う
- ・保険者協議会においては、保険者における取組の参考となるよう、保険者の取組の好事例を共有する

2 医療の効率的な提供の推進に向けた取組

（1）後発医薬品及びバイオ後続品の使用促進

保険者協議会を通じて、保険者の取組状況や課題を把握し、好事例の情報提供等を行う

（2）医薬品の適正使用の推進

保険者協議会と連携し、保険者の取組状況や課題を把握し、好事例の情報提供等を行う

（3）有効性・必要性を踏まえた医療資源の効率的な活用

保険者協議会において、抗菌薬の適正服薬やリフィル処方箋の活用について、被保険者に向けた普及啓発を検討するとともに、保険者及び医療関係者と白内障手術の外来での実施状況や外来化学療法の実施状況について情報共有する